

新年度がスタートしました。学校の行き帰りなどに事故にまきこまれないように注意してください。交通安全にかんする「4つのやくそく」をよびかける埼玉県警察交通総務課の片貝浩之さんに、心がけてほしいことを聞きました。(前田奈津子) = 3面に関連記事

4つのやくそく

①とどまる
道路をわたる前に、必ずとどまる
ピタッ



②みる
とび出しはきけん。右・左の安全をよく見てたしかめる



③待つ
右・左のしんごうが赤になっても、前のしんごうが青になるまで待つ。



④たしかめる
わたるときは、もう一度、車やバイクが来ないかたしかめる



道路をわたるときは…

①手をあげる



②安全をたしかめる



③ほかの車にも注意



④気持ちをたたく



自転車に乗るときも安全に



ストップ

イラスト・すぎうらあきら

埼玉県警察がよびかけている「4つのやくそく」は次の通りです。

①とどまる 道路をわたる前に必ずとどまりましょう。

②みる とび出しはきけん。右、左の安全をよくたしかめましょう。

③待つ 右、左のしんごうが赤になっても、前のしんごうが青になるまで待ちましょう。

④たしかめる わたるときはもう一度、車やバイクが来ないかたしかめましょう。

ほかにも、しんごうのいないおうだん歩道は歩行者が優先ですが、車を運転している人が止まりやすいように手をあげて「わたりますよ」という意思を伝えます。

わたるときは安全をたしかめて、運転している人に向け、軽くおじぎするといいかもしれません。

この記事は主に3年生までに習う漢字を使いました

低学年は歩いているとき、高学年は自転車の事故が多い

埼玉県では過去5年間(2016年〜2020年)に、4506人の小学生が交通事故でけがをしました。中には命を落とした子もいます。歩いていて大きな事故になった原因の多くは、道路にとび出したり、おうだん歩道のないところをわたろうとしたりしたことです。

小学1年〜3年は歩いているときに大きな事故にあうことが多く、とび出しや、車のすぐ前や後ろをわたることなどが原因です。「左右の安全をたしかめる」「おうだん歩道のあるところをわたる」「止まっている車と車の間を通らない」などをしっかりと守りましょう。

小学4年〜6年になると、自転車に乗っているときに大きな事故にあうことが多くなります。「止まれるひょうしきのある場所ではしっかりと一度止まる」「交差点を通るときは、安全をたしかめる」「ヘルメットをかぶる」などしてください。

自転車がせまい道から進んだときに車とぶつかる事故も起きています。また、青しんごうでおうだん歩道をわたっている人が、右や左にまがってきた車にまきこまれることもあります。

片貝さんは、家族といっしょに通学路を歩き、道路のわたり方やひょうしきの意味をたしかめることをすすめます。「安全に通学できるよう、ふたんからルールをたしかめておきましょう」